

おのまち夢企画提案のコーナー

このコーナーでは、町政に関する新たな制度の創設や事業の実施など、皆さんの自由な発想からの提案を募集しています。(手紙、ファックス、電子メールなど)

提案については、具体的な事業への反映の可能性などを検討し回答します。内容については、提案趣旨の変わらない範囲で要約をする場合もあります。

今月は、11月～12月中に提案のあった5件の提案についてお知らせします。

新しい小野町として生まれ変わらなくてはならないと思います。

例えば、つくばエクスプレスみたいに、小野新町駅前や小野インターチェンジ前などに大手企業や大手スーパー、10階建てのアパートや一軒家をたくさん作ったらどうでしょうか？

そうすれば、新しい小野町として小野町全体が活性化するのではないかと思います。

ご提案のとおり、人が集まる、人を集めるまちづくりをすることは、産業経済をはじめ地域全体の活性化へつながるものと期待されます。小野町でも「人口の増加」に重点をおいた事業を展開する方針です。

その一つとして、磐越自動車道小野インターに近い工業用地への、優良企業の立地に向けた活動にも力を入れています。

とは言え、ご提案の内容を実現するのは、客観的に難しいと考えます。

今の高校生や中学生のみなさんが、次代の小野町を支える大きな力となります。今後も学生ならではの視点から、新たなまちづくりに向けての提案を期待しています。

定住・交流による人口増に向けた取り組みが必要です。子供が増えないなら、増えないなりに、出て行く人を減らさなければ何の対策にもならないと考えるものです。

一策として、小野町への定住策だけでなく、夏井の「千本桜祭り」に集まった観光客を捉えて、農地の有償貸付けを行い、貸付地から収穫出来た米や野菜を低価で提供する方法等、考えてみては如何でしょうか。貸付けた農地へは、植え付け時と収穫時にだけ来て貰い、日常の管理は農家の人々が請け負うという制度です。こうすれば農地の有効活用に加えて現金収入も増え、観光客の誘致にもつながると思います。

磐越自動車道も折角4車線工事をしているのですから、小野町の入口辺り(夏井の磁沢橋辺り)にインターを作ってもらい、夏井の千本桜の観光をしやすくすべきと思います。また、インターの入口に「夏井の千本桜」降車口のPR標を建ててください

千本桜を活用した交流人口の増加策は、町が重点的に事業展開を行う「人口増加」につながるものです。

まず「市民農園」的な交流施設の創設ですが、小野町へのリピーターを増やす方策として有効な企画と考えます。

今後、農家の方々・農業関係機関・観光協会等との協議を進めて参ります。

次に、夏井地内へのインターチェンジの設置についてですが、インターチェンジ設置には基準があり、山間地域の高速道路については、20km以上離れることとなっていますので、新たなインターの建設は不可能です。

「夏井千本桜」降車口への案内板の設置については、サービスエリア、パーキング敷地内での設置は可能とのことなので、関係者と協議を進める考えです。

【問い合わせ先】

◆担当課

小野町役場企画課

◆電話

72-6939

◆ファックス

72-3121

◆電子メール

kikakuka@town.ono.fukushima.jp